

文学部新生 時間割作成のポイント

大学で受講する授業の時間割は学生が各自で作成する必要があります。

以下の手順に沿って、時間割を組み立ててみましょう。

履修登録の手順は、学生便覧の該当ページをよく読んでください。

<履修登録のスケジュール>

2024年4月1日(月)～4月3日(水)	6:00～24:00	一次登録	※最終日は11:00まで
4月4日(木)	6:00～24:00	二次登録	
4月6日(土)～4月12日(金)	6:00～24:00	履修修正期間	※最終日は17:00まで

1. 卒業までの履修計画を確認する

卒業に必要な単位数は**125単位**ですが、1度に履修登録できる最大の単位数は**24単位**です。1年間で春学期と秋学期の2回履修登録の機会がありますので、1年間で修得できる単位数は最大48単位です。

3～4年生は就職活動や卒業論文の執筆が予定されるため、**低学年のうちに多くの単位を修得することをお勧めします。**

一部の科目は、所属する班によって履修できる曜日・時限が異なります。履修したい授業が開講している曜日・時限をよく確認し、必要な授業の履修を忘れないように注意しましょう。

授業の内容はシラバスを読んでください。各科目の履修上の注意点は学生便覧に掲載されていますので、併せて必ずご確認ください。科目によっては定員が設けられており、希望者多数の場合は抽選等によって履修できない場合があります。

2. 文学部固有科目について理解する

卒業までに必要な125単位のうち、**81単位を文学部固有の科目から修得する必要があります。**学部固有科目の内訳は、必修科目29単位+選択必修科目12単位+選択科目40単位=81単位です。科目によって履修可能な学年が定められています。

■**必修科目** 卒業までにすべての科目を修得する必要があります。

■**選択必修科目** この中から、卒業までに少なくとも12単位を選択して修得する必要があります。

■**選択必修科目** 必要単位数を超えて単位を修得した場合は、選択科目の修得に必要な40単位に計上されます。

<資格取得を検討している方へ>

教職、学芸員、司書、司書教諭などの資格取得を検討している方は、関連する科目の履修が必要です。

ただし、資格課程に関する科目の中には、卒業に必要な単位として計上されるものと、そうでないものがあります。この場合、卒業に必要な単位として計上されるものは、履修登録できる最大の24単位に含まれます。

例：司書課程（学生便覧P62）

・「生涯学習概論」（履修可能学年 1年生～4年生）

司書課程にのみ必要な科目で、履修登録可能な24単位の制限に含まない。

司書課程申込後に履修登録が可能です。司書課程については別途手続きが必要です。

・「図書館概論」（履修可能学年 1年生～4年生）

司書課程の科目だが文学部固有科目でもあるため、履修登録可能な24単位の制限に含まれる。

修得した場合は卒業に必要な選択単位の一部としても計上される。

■日本文学科の科目一覧表を使用していますがどの学科でも見方は同様です。

7 学部固有科目一覧表					
問合せ先 教務課：名古屋5号館1F					
文学部 日本文学科					
科目区分	1年	2年	3年	4年	卒業要件(81単位)
	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	
学修基礎科目	日本語学入門Ⅰ(2) 日本語学入門Ⅱ(2) 日本文学入門Ⅰ(2) 日本文学入門Ⅱ(2)				必修 29単位
	日本文学史Ⅰ(2) 日本文学史Ⅱ(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) キャリアデザイン(1)	日本語日本文学演習Ⅰ(2) 日本語日本文学演習Ⅱ(2)			
学修専攻科目		日本語史・日本語学史Ⅰ(2) 日本語史・日本語学史Ⅱ(2) 上代文学を読むⅠ(2) 上代文学を読むⅡ(2) 中古文学を読むⅠ(2) 中古文学を読むⅡ(2) 中世文学を読むⅠ(2) 中世文学を読むⅡ(2) 近世文学を読むⅠ(2) 近世文学を読むⅡ(2) 近代文学を読むⅠ(2) 近代文学を読むⅡ(2) 中国文学を読むⅠ(2) 中国文学を読むⅡ(2)		卒業研究ゼミナールⅠ(通年4) 卒業研究ゼミナールⅡ(通年4)	選択必修 12単位 *1
	現代文学Ⅰ(2) 現代文学Ⅱ(2)	児童文学(2) 郷土の文学(2)	大衆文学(2) 短編文学の世界(2)	外国文学の世界(2)	
学修専攻科目	書道Ⅰ書2 国語表現法Ⅰ(2) 国語表現法Ⅱ(2) 中国文学Ⅰ(2) 中国文学Ⅱ(2) 中国文学史(2)	書道Ⅱ書2 圖書の世界(2) 演劇の世界(2) 日本語日本文学特論Ⅰ(2) 日本語日本文学特論Ⅱ(2) コンピュータ活用技術(2)	書道Ⅲ書2 コンピュータで文芸創作法(2) 大衆文化(2) メディア史(2) 芸能文化(2) 民俗芸能論(2)		選択 40単位 *2
		日本語文法Ⅰ(2) 日本語文法Ⅱ(2) 日本語音声学Ⅰ(2) 日本語音声学Ⅱ(2) 日本語日本文学特論Ⅱ(2) 日本語日本文学特論Ⅳ(2) 国語教材論Ⅰ(2) 国語教材論Ⅱ(2) 文章技術論Ⅰ(2)	文章技術論Ⅱ(2) 会話技術論Ⅰ(2) 会話技術論Ⅱ(2) レトリック論(2) 読書の文化史(2) 文字の文化史(2) 出版の文化史(2) 現代日本語論Ⅰ(2) 現代日本語論Ⅱ(2)	翻訳論(2) 古文書読解入門(2) 書道史Ⅰ(2) 書道史Ⅱ(2) 図書館情報資源概論(2) 歴史資料と博物館(2) 博物館概論(2) 仕事のコミュニケーション(2)	
			中国文学を読むⅡ(2) 中国文学を読むⅣ(2) 日本語日本文学特論Ⅴ(2) 日本語日本文学特論Ⅵ(2)	有識故実(2) 書論(2) 書学(2) 地域と歴史文化情報(2)	
	言語表現学科関連科目(2-8)及び歴史文化学科関連科目(2-8)				
	インターンシップ(2)				
	海外留学科目(1-16)				
	短期海外研修(2)				

必修科目
卒業までに全ての科目を修得する必要がある

選択必修科目
この科目群から12単位を選択して修得する必要がある

選択科目
この科目群から40単位を選択して修得する必要がある

選択必修科目の余剰分は選択科目に計上される

資格課程に必要な科目は表外の注記を確認

3. 全学共通科目について理解する

学部固有の専門的な科目だけでなく、語学などの教養科目の修得が必要です。卒業までに必要な単位数のうち、**44単位を全学共通科目から修得する必要があります。**学部固有科目と同様に、各科目群によって最低限修得が必要な単位数が決められています。

■第二外国語 A・B

入学手続きの際に選択した言語があらかじめ登録されていますので、履修登録画面上で確認してください。異なる言語を履修することはできません。第二外国語基礎 A・B のように1年を通じて授業を行う「通年科目」は2単位ですが、履修登録単位数を計算する際には、各セメスターあたり1単位ずつ計算します。

■英語コミュニケーションA・リーディングA

エレメンタリー、インターメディアイト、アドバンストから難易度を選択し、英語コミュニケーションおよび英語リーディングを1科目ずつ履修登録してください。難易度の選択については、学生便覧に「受講対象者のレベルと到達目標」の記載がありますので、参考にしてください。**ベーシッククラスは再履修者専用のため、1年生は選択できません。**

コミュニケーションとリーディングはレベルが異なっても構いません。希望者多数の場合には、抽選によって希望のクラスを履修できないことがあります。各教員の授業内容をシラバスで確認し、履修するクラスを選択してください。

※シラバスの開講学部にも所属学部の記載があっても、所属する班によって履修登録できない場合があります。

■スポーツ実技科目

シーズンスポーツを除き、1セメスターに1科目のみ履修登録できます。希望者多数の場合には抽選により履修できない場合があります。1年次春学期の履修登録時に可能な限り希望の種目を選択し、抽選漏れなどの理由で履修できなかった場合は、次の学期以降に改めて履修登録してください。

5 全学共通科目一覧表		問合せ先 教務センター：名古屋5号館1F							
学年	1年	2年	3年	4年	卒業要件 (44単位)				
系	科目名 (単位)	科目名 (単位)	科目名 (単位)	科目名 (単位)					
教養発展科目	学びの発展	発展ゼミ	発展ゼミ(言語文化)I(2) 発展ゼミ(健康科学)I(2) 発展ゼミ(自然科学)I(2) 発展ゼミ(人文科学)I(2) 発展ゼミ(社会科学)I(2) 発展ゼミ(複合領域)I(2)	発展ゼミ(言語文化)II(2) 発展ゼミ(健康科学)II(2) 発展ゼミ(自然科学)II(2) 発展ゼミ(人文科学)II(2) 発展ゼミ(社会科学)II(2) 発展ゼミ(複合領域)II(2)					
	テーマ指向型科目		外国語：各国映画への招待(2) 英語の諸相(2) 日本語を学ぶ(2) 多文化リテラシー(2) 自然：データサイエンス実践(2) 人間：インターネットを思索する(2) 哲学カフェ(2) 考える歴史学(2) 社会：現代社会と人権(2) 社会と安全(2) ボランティアの実践(2) 多様性から考える(2) グローバル化と日本(2) 複合領域：性の諸相(2) 平和の実践(2) 情報と社会(2) 環境をめぐる議論(2)		2単位				
	外国語演習	英語	English for Travel(2) English for Entertainment(2) 時事英語(2) English Presentation(2) Discussion and Debate(2) 英語資格対策基礎(2) 英語資格対策上級(2) 英語セミナーI(2) 英語セミナーII(2)						
	第二外国語		ドイツ語演習I(2) ドイツ語演習II(2) ドイツ語応用I(2) ドイツ語応用II(2) ロシア語演習I(2) ロシア語演習II(2) ロシア語応用I(2) ロシア語応用II(2) フランス語演習I(2) フランス語演習II(2) フランス語応用I(2) フランス語応用II(2) 中国語演習I(2) 中国語演習II(2) 中国語応用I(2) 中国語応用II(2) スペイン語演習I(2) スペイン語演習II(2) スペイン語応用I(2) スペイン語応用II(2) 韓国朝鮮語演習I(2) 韓国朝鮮語演習II(2) 韓国朝鮮語応用I(2) 韓国朝鮮語応用II(2)						
	グローバルコミュニケーション	英語	ベーシック英語リーディングA(1) エレメンタリー英語リーディングA(1) インターメディアイト英語リーディングA(1) アドバンスト英語リーディングA(1) ベーシック英語リーディングB(1) エレメンタリー英語リーディングB(1) インターメディアイト英語リーディングB(1) アドバンスト英語リーディングB(1)			1単位			
		第二外国語	ベーシック英語コミュニケーションA(1) エレメンタリー英語コミュニケーションA(1) インターメディアイト英語コミュニケーションA(1) アドバンスト英語コミュニケーションA(1) ベーシック英語コミュニケーションB(1) エレメンタリー英語コミュニケーションB(1) インターメディアイト英語コミュニケーションB(1) アドバンスト英語コミュニケーションB(1)			1単位			
			ドイツ語基礎A(通年2) ドイツ語基礎B(通年2) ロシア語基礎A(通年2) ロシア語基礎B(通年2) フランス語基礎A(通年2) フランス語基礎B(通年2) 中国語基礎A(通年2) 中国語基礎B(通年2) スペイン語基礎A(通年2) スペイン語基礎B(通年2) 韓国朝鮮語基礎A(通年2) 韓国朝鮮語基礎B(通年2)			4単位			
		学びのエッセンス		ことばの科学(2) ことばと文化(2)					
		テーマからの学び		異文化研究(2)					
		スポーツ実技	卓球(1) バドミントン(1) バスケットボール(1) バレーボール(1) テニス(1)	サッカー(1) フットボール(1) バレーボール(1) ソフトボール(1) テニス(1)	ラグビー(1) アイスホッケー(1) スキー(1) 自転車(1) ゴルフ(1)	シーズンスポーツ・ゴルフ(1) シーズンスポーツ・スケート(1) アダプトテニススポーツA(1) アダプトテニススポーツB(1)	2単位		
学びの健康			健康科学(2) スポーツ科学(2)						
テーマからの学び			現代社会とスポーツ(2)						
自然の探究		ウェブ設計(2)	宇宙地球科学(2)	化学(2)	教養統計学(2)	数学(2)	生物学(2)	物理学概論(2)	4単位
テーマからの学び			コンピュータプログラミング(2)	人間生活の中の宇宙地球科学(2)	身近な物質の化学(2)	社会における統計学(2)	数理と社会(2)	生物と環境(2)	日常の中の物理学(2)
学びのエッセンス	文学(2)	日本史(2)	西洋史(2)	東洋史(2)	哲学(2)	倫理学(2)	論理学(2)	心理学(2)	4単位
テーマからの学び		人間の心と言葉(2)	日本史と現代世界(2)	ヨーロッパ史と現代世界(2)	アジア史と現代世界(2)	科学と技術の哲学(2)	自由と正義の倫理学(2)	レトリックの論理学(2)	
学びのエッセンス	人文地理学(2)	社会学(2)	教育学(2)	経済学(2)	政治学(2)	法学(2)	日本国憲法(2)	文化人類学概論(2)	4単位
テーマからの学び		地域らしさの探求(2)	障害と社会(2)	教育と社会(2)	くらしと経済(2)	国際関係と日本(2)			
学びのエッセンス	ジェンダー論(2)	平和学(2)	情報科学(2)	環境科学(2)	国際協力学(2)	キャリアデザイン論(2)			4単位
テーマからの学び		現代社会とジェンダー(2)	国際平和論(2)	情報と技術(2)	環境テーマ論(2)				
			中京大学を知る(2)	海外教養科目(4)					
			教養トピック講義(2)	全学開放科目(8)					

必要な単位数の考え方

例
この科目群から2単位を選択して履修する必要がある。(選択必修科目)
2単位を超えて修得した場合は、選択科目14単位へ計上される

この科目群から単位を修得した場合は、選択科目14単位へ計上される

左の単位以外で全学共通科目のいずれから

4. 時間割を組み立てる

これまでの注意点を参考にして、別紙「履修計画表」に時間割を書き込んでみましょう。

授業を実施する教室は、初回授業までに各自で確認してください。時間割作成の優先順位は次のとおりです。

①文学部固有の必修科目（4科目）

学科	科目名（曜日時限）	
日本文学科	日本文学入門Ⅰ（火2限）	日本文学史Ⅰ（火4限）
	比較文学Ⅰ（木1限）	日本語学入門Ⅰ（木3限）
言語表現学科	言語表現学入門Ⅰ（火2限）	日本語学入門Ⅰ（火3限）
	文章技術論Ⅰ （G-I班 水1限/J-L班 水4限）	会話技術論Ⅰ （G-I班 金2限/J-L班 金3限）
歴史文化学科	歴史文化学入門（火2限）	古文書読解入門（火4限）
	民俗学概論（木3限）	近世史概説（金3限）

②全学共通の選択必修科目（英語リーディング・英語コミュニケーション・第二外国語・スポーツ実技）

③空いた曜日時限へ、全学共通科目や学部固有科目を履修

5. 履修登録を行う

履修計画表ができたなら、それを基に履修登録を行います。抽選結果を確認して正しく登録できていれば終了です。

抽選漏れなどで履修できなかった科目があれば、追加の履修登録を行ってください。

■よくある質問

Q. A先生の「倫理学」とB先生の「倫理学」を同時に履修できますか。

A. **同じ名称の科目を同時に履修することはできません。**

また一度履修をして合格（単位修得）した科目は、教員が違ってても再度履修することはできません。

Q. 【二次登録・履修修正期間】履修申請で抽選漏れとなった「英語基礎科目」のクラスが、履修申請画面で「定員残り●名」と表示されています。定員に空きがあるのでしょうか。

A. **上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。**

英語基礎科目については、1年生定員と上級生定員をそれぞれ設定しています。「空きあり」と表示されている場合でも、上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

落選した科目については、二次履修登録で履修登録しても再度落選してしまう可能性が高いため、別のコマ（レベルを変更するなど）で履修登録をすることをお勧めします。

また、二次履修登録の抽選でも落選した場合は履修修正期間に再度履修登録してください。

Q. 【履修修正期間】二次抽選で落選した科目があった場合どうしたらいいですか。

また、履修が確定した科目を修正して、新しい科目を履修登録することはできますか。

A. **二次抽選で落選した場合、履修登録修正期間に追加登録を行ってください。**

また、確定した科目についても修正することが可能です。履修登録修正期間で申請した科目は、先着順で、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。

Q. 履修登録した科目がMaNaBoに反映されません。

A. MaNaBoに履修科目が表示されるのは、次のタイミングです。

- ・一次申込期間に申請し、当選した科目 → 4/4の朝6時から反映されます。
- ・二次申込期間に申請し、当選した科目 → 4/6の朝6時から反映されます。
- ・履修修正期間追加した科目 → 登録した翌日の朝6時から反映されます。